

胃がん医療における東西の融合：
発症からその後の生活へ、患者さんが歩む道のり

患者さんのための
国際
教育シンポジウム

2026年10月31日（土）

午前9:00～正午（日本時間）

同時通訳予定



ソウル大学校病院



101 Daehak-ro, Jongno District, Seoul, South Korea

胃がんの治療と研究における最新の進歩に焦点を当て、学び、語り合い、
つながる充実した時間を過ごしませんか。
第一線で活躍する専門家をはじめ、患者の皆様、ご家族や介護をされる方、
そして支援者の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

参加無料

現地（会場：韓国）参加とオンライン参加によるハイブリッド形式で。



09:00-09:15 開会のご挨拶

Amanda Pullinger (Debbie's Dream Foundation, USA)
Hyuk-Joon Lee (Korean Gastric Cancer Association, Korea)
Yelena Y. Janjigian (USA)

09:15-10:00 **Session I:**
胃がん治療の第一歩：早期発見が大切な理由

Chairs: Souya Nunobe (Japan); Lin Chen (China)

09:15-09:30 同じ胃がん、異なる経験：東洋と西洋の胃がん事情

Takeshi Sano (Japan)

09:30-09:45 胃がんをより早く見つけるために：
韓国の経験から学ぶ

Han-Kwang Yang (Korea)

09:45-10:00 胃がんが早く見つかったら？
大きな手術をせずに治療する方法

Takuji Gotoda (Japan)

10:00-10:55 **Session II:**
手術が必要になったとき：東洋と西洋のさまざまな治療法

Chairs: Natalie Coburn (Canada); Seong-Ho Kong (Korea)

10:00-10:15 進化する胃がん手術：体への負担が少ない手術

Lin Chen (China)

10:15-10:30 胃の働きをできるだけ残す胃がん治療

Hyuk-Joon Lee (Korea)

10:30-10:45 胃がん手術後の生活：回復と生活の質

Seung Ki Rha (Korea)

10:45-10:55 Discussion (意見交換)

Daisuke Ichikawa (Japan); Joong-Min Park (Korea)

10:55-11:35 **Session III:**
進行した胃がんに向き合うとき：治療の選択肢とこれからの歩み

Chairs: Do-Youn Oh (Korea); Peng Zhi (China)

10:55-11:10 胃がん治療の新しい進歩：注目される最新の治療法

Yelena Y. Janjigian (USA)

11:10-11:25 ステージIVの胃がん：どのような治療が受けられる？

Jeeyun Lee (Korea)

11:25-11:35 Discussion (意見交換)

Dong-Hoe Koo (Korea)

11:35-12:00 **Session IV:**
患者さんが主体となる胃がん医療：アジアと欧米の取り組み

Chair: Daisuke Ichikawa (Japan)

11:35-11:50 アジアからの視点

Bang-Wool Eom (Korea)

11:50-12:00 欧米からの視点

Amanda Pullinger (DDF, USA)

12:00-12:05 閉会のご挨拶

Amanda Pullinger (Debbie's Dream Foundation, USA)

12:05-12:10 閉会のご挨拶

Han-Kwang Yang (National Cancer Center, Korea)

Organized by

Supported by

